

取扱説明書番号: BMMN-832-03-22021-02

# 正常ヒト細胞継代用試薬

## 製品情報

お願い: 総合取扱説明書と合わせて、使用前に必ずお読みください。

### 1. 製品内容

表 1

製品番号	製品名	仕 様
HK-3120	トリプシン/EDTA 溶液	トリプシン/EDTA 溶液 100mℓ 2 本 トリプシン濃度 0.025% (W/V) EDTA 濃度 0.01% (W/V)
HK-3220	トリプシン中和液	トリプシン中和液 100mℓ 2 本 血清濃度 10%
HK-3320	HEPES 緩衝液	HEPES 緩衝液 100mℓ 2 本 HEPES 濃度 30mM、pH7.4
HK-3404	継代用試薬セット	上記 3 点セット、100mℓ 各 1 本

本製品は正常ヒト細胞の継代培養において最適化され、正常ヒト細胞との適合性を慎重にスクリーニングした原料を用い、厳しい品質管理のもとで製造しています。

**<重要> 継代操作では継代操作において上記以外の継代試薬、または自家調製された継代用試薬を使用された場合、製品保証の対象外となります。**

**トリプシン/EDTA 溶液は、トリプシンを 0.025% (W/V)、EDTA を 0.01% (W/V) で含む HEPES 緩衝液です。**

**弊社のトリプシン濃度は株化細胞等に使われているものに比べて低濃度(10 分の 1 程度)となっていますので、トリプシンの処理時間等にご注意ください。**

トリプシン中和液は、血清を 10%(V/V) 含む HEPES 緩衝液です。

HEPES 緩衝液は、HEPES を 30mM の濃度含む緩衝液です。

#### ① 製品の受け入れ

ドライアイス、凍結した保冷材と発泡断熱材で梱包して冷凍輸送します。製品到着後はすぐに開梱し、各容器に破損や液漏れがないかご確認ください。ドライアイスが到着時になくなっても、凍結状態であれば性能に問題はありません。

#### ② 保存と安定性

凍結(-20℃)、または冷蔵(4℃)保存してください(表 2 継代用試薬の保存安定性 参照)。トリプシン/EDTA 溶液は繰り返し温めることは避け、必要量だけ温めてください。pH の変動により多少黄色に変色することがありますが、緩衝作用がありますので性能に問題はありません。

表 2 継代用試薬の保存安定性

-20℃凍結	4℃冷蔵	25～37℃	37℃以上
ラベルに記載の期日まで 最低 6 か月間	3～7 日	5～24 時間	不可

### ③ 品質管理

無菌性、細胞増殖性、その他の基準に適合した製品を出荷しています。

### ④ 使用方法

総合取扱説明書「6.1.2 継代培養」をご覧ください。

## 2. 毒劇物・危険物

該当物はありません。

## 3. 免責事項

- (1) 使用期限を経過した製品の使用、弊社指定外の培地等を用いた製品の使用、日本国外での製品の使用、製品を改変・改造しての使用、その他本取扱説明書または各製品情報の記載に従わない製品を使用された場合、および本取扱説明書または各製品情報に記載の取扱い方法以外の方法で製品を取り扱われた場合に起因するいかなる損害につきましても、弊社は一切の責任を負いません。
- (2) 洪水、豪雪、豪雨、地すべり、地震、津波、突風、竜巻等の天災地変、火災、停電、労働紛争、原材料の入手手段の停止その他の不可抗力によって生じた製品に関連するいかなる損害につきましても、弊社は一切の責任を負いません。
- (3) 製品に関連して生じた逸失利益を含む結果的損害、派生的損害、間接損害、特別損害および第三者からの請求に基づきいかなる損害につきましても、弊社は一切の責任を負いません。
- (4) 購入された製品に関して弊社が責任を負う場合においても、弊社の責任はその製品の販売金額を超えないものとします。
- (5) 購入された製品に関して、弊社への返品はお受けできません。

製造・販売元



倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

・大阪

〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町 14-5 クラボウ先端技術センター2F

TEL.072-820-3079 FAX.072-820-3095

・東京

〒105-0004 東京都港区新橋 6 丁目 19-15 東京美術倶楽部ビルディング 6F

TEL.03-6371-1390 FAX.03-6371-1396

URL; <https://www.kurabo.co.jp/bio/>